

Cisco UCS E シリーズ サーバおよびCisco UCS E シリーズ ネットワーク コンピュート エンジン用トラブルシューティング ガイド

初版 : 2017 年 01 月 05 日

概要

本書では、Cisco UCS E シリーズ サーバ (E シリーズ サーバ) および Cisco UCS E シリーズ ネットワーク コンピュート エンジン (NCE) のトラブルシューティングに関する情報を説明します。マニュアルは初版発行後も随時更新されますので、更新については Cisco.com で確認してください。

製品マニュアルへのリンク

すべての Cisco UCS E シリーズ サーバと Cisco UCS E シリーズ ネットワーク コンピュート エンジンのマニュアルへのリンクについては、『[Documentation Guide for Cisco UCS E-Series Servers](#)』を参照してください。

E シリーズ サーバと NCE のタイプ



一般的なトラブルシューティング

E シリーズ サーバまたは NCE にアクセスできない

『CLI Configuration Guide for Cisco UCS E-Series Servers and the Cisco UCS E-Series Network Compute Engine, Release 2.x』の章「Firmware Management」の項「Troubleshooting E-Series Server or NCE Access Issues」を参照してください。

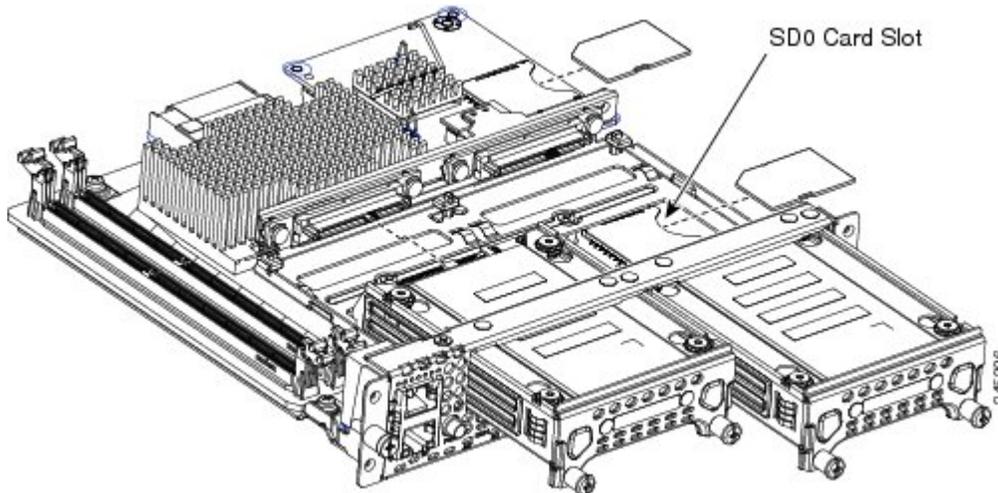
CIMC がハングする

この問題を解決するには、次の手順を実行します。

- IPMI を使用して CIMC をリブートします。IPMI を使用しても問題が解決しない場合は、E シリーズ サーバの電源を再投入します。
- SD0 カードスロットに SD カードが差し込まれていることを確認します。SD0 スロットカードの SD カードには CIMC ソフトウェアが格納されているため、必ず差し込む必要があります。

次の図は、シングル幅 E シリーズ サーバの SD0 カードスロットの位置を示しています。

図 1: シングル幅 E シリーズ サーバ

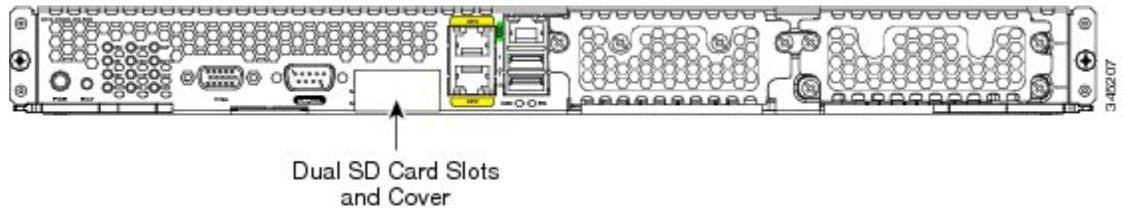


次の図は、ダブル幅 E シリーズ サーバの SD カードスロットの位置を示しています。



(注) SD0 カードは、下部の SD カード スロットにある下の方のカードです。

図 2: ダブル幅 E シリーズ サーバの前面パネル



- E シリーズ サーバの電源をオフにして、SD カードがスロットから出てくることを確認します。出てきた場合は、SD カードを再度差し込みます。次の手順を実行します。
 - E シリーズ サーバが Cisco 3900 シリーズ ルータに設置されている場合は、**hw-modulesmlotoir-stop** コマンドを使用してサーバの電源を切断し、SD カードを再度差し込んでから **hw-modulesmlotoir-start** コマンドを使用してサーバを起動します。
 - E シリーズ サーバが Cisco 2900 シリーズ ルータに設置されている場合は、ルータの電源を再投入します。



(注) システムの稼働中には SD カードを取り除かないでください。

バージョン 2.2 から 3.1.x へのアップグレード時に CIMC アップグレードが失敗する

CIMC バージョン 2.2.x を実行している場合、まずバージョン 2.3.2 へアップグレードしてから 3.1.x にアップグレードします。

CIMC バージョン 3.1.x にすでにアップグレードしている場合、*** を入力してリカバリ シェルに入り、[リカバリ シェルからイメージ 3.1.x をインストールします。

ホスト イメージをダウンロードできない

この問題を解決するには、次のことを確認します。

- ホスト イメージのダウンロード先とする FTP サーバが実行されていること。
- イメージ ファイルへの FTP サーバのパスが正確であること。

E シリーズ サーバの電源がオンにならない

この問題を解決するには、以下のように CIMC GUI または CIMC CLI を使用して、サーバの BIOS CMOS メモリをクリアします。

CIMC GUI を使用した BIOS CMOS のクリア はじめる前に

- admin 権限を持つユーザとして CIMC GUI にログインします。
- サーバの電源を切ります。

手順の概要

1. [Navigation] ペインの [Server] タブをクリックします。
2. [Server] タブの [BIOS] をクリックします。
3. [Actions] 領域の [Clear BIOS CMOS] をクリックします。
4. 確認ウィンドウで、[OK] をクリックします。

手順の詳細

-
- ステップ 1 [Navigation] ペインの [Server] タブをクリックします。
- ステップ 2 [Server] タブの [BIOS] をクリックします。
- ステップ 3 [Actions] 領域の [Clear BIOS CMOS] をクリックします。
- ステップ 4 確認ウィンドウで、[OK] をクリックします。
-

CIMC CLI を使用した BIOS CMOS のクリア

手順の概要

1. BIOS のコマンドモードを開始します。以下の **scopebios** コマンドを使用します。
2. BIOS CMOS メモリをクリアします。以下の **clearcmos** コマンドを使用します。
3. 確認プロンプトで、**y** を入力して確認します。

手順の詳細

-
- ステップ 1 BIOS のコマンドモードを開始します。以下の **scopebios** コマンドを使用します。

例：

```
Server# scope bios
```

- ステップ 2 BIOS CMOS メモリをクリアします。以下の **clearcmos** コマンドを使用します。

例：

```
Server /bios # clear-cmos
```

This operation will clear the BIOS CMOS.
Note: Server should be in powered off state to clear CMOS.

ステップ 3 確認プロンプトで、**y** を入力して確認します。

例：

```
Continue?[y|N] y
```

ISR 4K プラットフォームで電力復元ポリシーを設定できない

ISR G2 プラットフォームと ISR 4K プラットフォームの間のハードウェアの違いにより、電力復元ポリシーの BIOS 設定は ISR 4K プラットフォームに適用することができません。代わりに、CIMC が自動的に ISR 4K の「最後の状態に復元」ポリシーを有効にします。



(注) 4K ISR プラットフォームでは、電力復元ポリシーの設定は、リリース 3.1.3 以降で CIMC に設定可能です。ISR G2 プラットフォームでは、電力復元ポリシー設定は引き続き CIMC の BIOS 設定で設定されます。

サーバのリブート後にブート順序の設定が保存されない

CIMC を通じてブート順序を設定していることを確認し、変更を保存します (CLI では [commit]、GUI では [save changes])。BIOS 設定メニュー (<F2>) からブート順序を設定しないでください。BIOS 設定からブート順序を設定すると、CIMC 設定がブート順序の設定を上書きします。

破損した CIMC ファームウェア イメージからの回復

『[CLI Configuration Guide for Cisco UCS E-Series Servers and the Cisco UCS E-Series Network Compute Engine, Release 2.x](#)』の章「Firmware Management」の項「Troubleshooting E-Series Server or NCE Access Issues」を参照してください。

障害がある SD ドライブの回復

『[CLI Configuration Guide for Cisco UCS E-Series Servers and the Cisco UCS E-Series Network Compute Engine, Release 2.x](#)』の章「Firmware Management」の項「Troubleshooting E-Series Server or NCE Access Issues」を参照してください。

破損ファイル システムの回復

『[CLI Configuration Guide for Cisco UCS E-Series Servers and the Cisco UCS E-Series Network Compute Engine, Release 2.x](#)』の章「Firmware Management」の項「Troubleshooting E-Series Server or NCE Access Issues」を参照してください。

最新のファームウェア イメージの確認とアップグレード

最新のファームウェア イメージの確認およびアップグレードを行うには、Cisco Host Upgrade Utility を使用します。『[Host Upgrade Utility Guide for Cisco UCS E-Series Servers and the Cisco UCS E-Series Network Compute Engine](#)』を参照してください。

VMware ライセンスのトラブルシューティング

VMware FL-SRE-V-HOST ライセンスを適用できない

この問題は、VMware vSphere Hypervisor™ 5.x で 32 GB を超える RAM を使用した場合に発生します。この問題を解決するには、RAM を 32 GB 以下にするか、ライセンスを FL-SRE-V-HOSTVC にアップグレードします。

Microsoft Windows のインストールのトラブルシューティング

Microsoft Windows のインストール後に VMware がブートする

この問題は、先に VMware をインストールしてから Microsoft Windows をインストールした場合に発生します。この問題を解決するには、次の手順を実行します。

- 1 物理ドライブの状態を JBOD に変更します。使用している CIMC のバージョンに応じた構成ガイドの項「Changing the Physical Drive State」を参照してください。
- 2 RAID を設定してパーティションを消去します。使用している CIMC のバージョンに応じた構成ガイドの項「Configuring RAID Using the CIMC GUI」を参照してください。

構成ガイドは以下の場所から入手できます：<http://www.cisco.com/c/en/us/support/servers-unified-computing/ucs-e-series-servers/products-installation-and-configuration-guides-list.html>

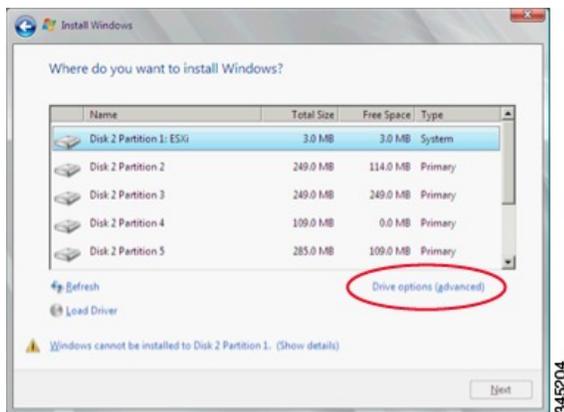
Microsoft Windows のインストール時に VMware のパーティションが表示される

Microsoft Windows のインストール時に [Where do you want to install Windows] ダイアログボックスが表示されます（下図参照。あらかじめ VMware によって作成されたパーティションが示されています）。このダイアログボックスには次の警告メッセージも表示されます。

```
Warning: Windows Cannot be Installed to Disk x  
Partition x
```

この問題を解決するには、[Driveoptions (advanced)] をクリックして古いパーティションを消去してから Microsoft Windows のインストールを再開します。

図 3 : [Where Do You Want to Install Windows] ダイアログボックス



ホストのログインと CIMC ログインのトラブルシューティング

E シリーズ サーバ（ホスト）へのセッションを接続できない

`ucse slotsession host` コマンドを実行しても E シリーズ サーバにログインできません。この問題を解決するには、次の手順を実行します。

手順

手順の概要

1. 回線速度の値が 9600 であることを確認します。回線速度の値を確認するには、`show line` コマンドを使用します。
2. 回線速度の値が正しい場合は、ボー レートの値が 9.6K であることと、端末タイプに互換性があることを確認します。ボー レートと端末タイプを確認するには、`/bios/server-management` から `show detail` コマンドを使用します。
3. Serial over LAN (SoL) の [Enabled] オプションが [no] に設定されていることを確認します。`/sol` から `show detail` コマンドを使用して SoL 設定を確認します。

手順の詳細

ステップ 1 回線速度の値が 9600 であることを確認します。回線速度の値を確認するには、`show line` コマンドを使用します。

例 :

```
Router# show line
```

```

Tty Line Typ      Tx/Rx      A Modem  Roty AccO AccI  Uses  Noise Overruns  Int
*   0    0 CTY          -         -      -   -   -    9     0     0/0    -
    1    1 AUX      9600/9600 -         -      -   -   0     0     0/0    -
    2    2 TTY      9600/9600 -         -      -   -   0     0     0/0    -
131 131 TTY      9600/9600

```

ステップ 2 回線速度の値が正しい場合は、ボー レートの値が **9.6K** であることと、端末タイプに互換性があることを確認します。ボー レートと端末タイプを確認するには、`/bios/server-management` から **show detail** コマンドを使用します。

例 :

```

router# ucse 2 session imc
CIMC# scope bios/server-management
CIMC /bios/server-management # show detail
Set-up parameters:
  Assert NMI on PERR: Disabled
  Assert NMI on SERR: Disabled
  Baud rate: 9.6k
  Console redirection: Serial Port A
  FRB2 Enable: Enabled
  Flow Control: None
  OS Boot Watchdog Timer: Disabled
  OS Boot Watchdog Timer Policy: Do Nothing
  Power Restore Policy: Power On
  Terminal type: PC-ANSI

```

ステップ 3 Serial over LAN (SoL) の [Enabled] オプションが [no] に設定されていることを確認します。/sol から show detail コマンドを使用して SoL 設定を確認します。

例 :

```

CIMC# scope sol
CIMC /sol # show detail
Serial Over LAN:
  Enabled: no
  Baud Rate(bps): 9600

```

Active Directory 認証を使用して CIMC へのセッションを接続できない

この問題は、完全ドメイン名に続けてユーザ名を指定しなかった場合に発生します。この問題を解決するには、完全ドメイン名に続けてユーザ名を指定します。次に例を示します。

```

CIMC login: cert.cisco.com\adadmin
Password:
PING 172.19.159.52 (172.19.159.52): 56 data bytes
64 bytes from 172.19.159.52: seq=0 ttl=128 time=0.000 ms
--- 172.19.159.52 ping statistics ---
1 packets transmitted, 1 packets received, 0% packet loss
round-trip min/avg/max = 0.000/0.000/0.000 ms

```

バージョン情報の確認

ルータにインストールされている Cisco IOS のバージョンの確認



(注) E シリーズ サーバでサポートされている Cisco IOS ソフトウェアのバージョンは、15.2(4)M 以降です。詳細については、使用している CIMC のバージョンに応じたスタートアップガイドの項「Verifying the Router, E-Series Server, and Cisco IOS Software Version Compatibility」を参照してください。スタートアップガイドは以下の場所から入手できます：<http://www.cisco.com/c/en/us/support/servers-unified-computing/ucs-e-series-servers/products-installation-guides-list.html>

- Cisco 2921 と 2951 シリーズ ルータでは、4 コアのみがサポートされます。

Cisco IOS のバージョンを確認するには、ルータから **showversion** コマンドまたは **showinventory** コマンドを使用します。

```
Router> show version
Cisco CISCO3945-CHASSIS (revision 1.0) with C3900-SPE150/K9 with 1048576K/63488K bytes of
memory.
1 cisco UCSE Module(s)
Router>
  show inventory
NAME: "UCSE Server Module on Slot 4", DESCR: "UCSE Server Module"
PID: UCS-E140D-M1/K9 , VID: V00 , SN: FOC16161F5E
```

診断を通じた E シリーズ サーバの情報の確認

ルータに設置されている E シリーズ サーバのタイプと、どのスロットに設置されているのかを確認するには、ルータから **show diag** コマンドを使用します。

```
Router>
  show diag
Slot 4:
UCSE Double Wide Module Port adapter, 2 ports
Port adapter is analyzed
Port adapter insertion time 4d18h ago
Product (FRU) Number : UCS-E140D-M1/K9
```

E シリーズ サーバまたは NCE のハードウェアバージョンの確認

CIMC GUI または CIMC CLI から E シリーズ サーバまたは NCE のハードウェアバージョンを確認できます。

CIMC GUI からの E シリーズ サーバまたは NCE のハードウェアバージョンの確認

手順の概要

1. [Navigation] ペインの [Server] タブをクリックします。
2. [Server] タブの [Summary] をクリックします。[Server Summary] ページが表示されます。
3. [Cisco Integrated Management Controller (CIMC) Information] 領域の [CPLDVersion] および [Hardware Version] フィールドに、E シリーズ サーバのハードウェア バージョンが表示されます。

手順の詳細

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Server] タブをクリックします。

ステップ 2 [Server] タブの [Summary] をクリックします。[Server Summary] ページが表示されます。

ステップ 3 [Cisco Integrated Management Controller (CIMC) Information] 領域の [CPLDVersion] および [Hardware Version] フィールドに、E シリーズ サーバのハードウェア バージョンが表示されます。

CIMC CLI からの E シリーズ サーバまたは NCE のハードウェア バージョンの確認
次のコマンドを入力します。

```
Server# scope cimc
Server/cimc # scope firmware

Server/cimc/firmware # show detail

Firmware Image Information:
Update Stage: NONE
Update Progress: 0%
Current FW Version: 2.3(1.20140818121921)
FW Image 1 Version: 2.3(1.20140818121921)
FW Image 1 State: RUNNING ACTIVATED
FW Image 2 Version: 2.3(1.20140818113904)
FW Image 2 State: BACKUP INACTIVATED
Boot-loader Version: 2.3(1.20140818121921).33
CPLD Version: 0.62
Hardware Version: 0
```

E シリーズ サーバまたは NCE にインストールされている BIOS バージョンの確認

CIMC GUI または CIMC CLI から E シリーズ サーバまたは NCE の BIOS バージョンを確認できません。

CIMC GUI からの E シリーズ サーバまたは NCE にインストールされている BIOS バージョンの確認

E シリーズ サーバの BIOS バージョンを確認するには、CIMC GUI から次の手順を実行します。

手順の概要

1. [Navigation] ペインの [Server] タブをクリックします。
2. [Server] タブの [BIOS] をクリックします。[BIOS] ページが表示されます。
3. [BIOSProperties] 領域の [Running Version] フィールドに BIOS バージョンが表示されます。

手順の詳細

- ステップ1 [Navigation]ペインの [Server] タブをクリックします。
- ステップ2 [Server] タブの [BIOS]をクリックします。[BIOS] ページが表示されます。
- ステップ3 [BIOSProperties] 領域の [Running Version] フィールドに BIOS バージョンが表示されます。

CIMC CLI からの E シリーズ サーバまたは NCE にインストールされている BIOS バージョンの確認
次のコマンドを入力します。

```
Server # scope bios
Server /bios # show detail
BIOS:
  BIOS Version: UCSES.1.5.0.1 (Build Date: 02/14/2013)
  Boot Order: CDRom:Virtual-CD,HDD:RAID,EFI
  FW Update/Recovery Status: None, OK
  Active BIOS: main
```

E シリーズ サーバまたは NCE にインストールされている CIMC バージョンの確認

CIMC GUI または CIMC CLI から E シリーズ サーバまたは NCE にインストールされている CIMC バージョンを確認できます。

CIMC GUI からの E シリーズ サーバまたは NCE にインストールされている CIMC バージョンの確認
E シリーズ サーバの CIMC バージョンを確認するには、CIMC GUI から次の手順を実行します。

手順の概要

1. [Navigation]ペインの [Admin] タブをクリックします。
2. [Admin] タブの [FirmwareManagement]をクリックします。[Firmware Management] ページが表示されます。
3. [CIMCFirmware] 領域の [Running Version] フィールドに CIMC バージョンが表示されます。

手順の詳細

- ステップ1 [Navigation]ペインの [Admin] タブをクリックします。
- ステップ2 [Admin] タブの [FirmwareManagement]をクリックします。[Firmware Management] ページが表示されます。
- ステップ3 [CIMCFirmware] 領域の [Running Version] フィールドに CIMC バージョンが表示されます。

CIMC CLI からの E シリーズ サーバまたは NCE にインストールされている CIMC バージョンの確認
次のコマンドを入力します。

```
Server# scope cimc
```

```

Server/cimc # scope firmware

Server/cimc/firmware # show detail

Firmware Image Information:
Update Stage: NONE
Update Progress: 0%
Current FW Version: 2.3(1.20140818121921)
FW Image 1 Version: 2.3(1.20140818121921)
FW Image 1 State: RUNNING ACTIVATED
FW Image 2 Version: 2.3(1.20140818113904)
FW Image 2 State: BACKUP INACTIVATED
Boot-loader Version: 2.3(1.20140818121921).33
CPLD Version: 0.62
Hardware Version: 0

```

LSI ファームウェアバージョンの確認（CIMC リリース 1.x の場合）

LSI ファームウェアバージョンを確認するには、CIMC GUI から次の手順を実行します。

手順

手順の概要

1. [Navigation] ペインの [Server] タブをクリックします。
2. [Server] タブの [Inventory] をクリックします。[Inventory] ページが表示されます。
3. [Storage] タブをクリックします。
4. [StorageAdapters] 領域の、[Firmware Package Build] カラムに LSI ファームウェアの情報が表示されます。

手順の詳細

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Server] タブをクリックします。

ステップ 2 [Server] タブの [Inventory] をクリックします。[Inventory] ページが表示されます。

ステップ 3 [Storage] タブをクリックします。

ステップ 4 [StorageAdapters] 領域の、[Firmware Package Build] カラムに LSI ファームウェアの情報が表示されます。

LSI ファームウェアバージョンの確認（CIMC リリース 2.x の場合）



(注) この手順は、E シリーズサーバおよび SME シリーズ NCE に適用されます。この項は、EHWIC E シリーズ NCE には当てはまりません。

LSI ファームウェアバージョンを確認するには、CIMC GUI から次の手順を実行します。

手順

手順の概要

1. [Navigation] ペインの [Server] タブをクリックします。
2. [Server] タブの [RAID] をクリックします。[Storage Cards] ページが表示されます。
3. [StorageAdapters] 領域の、[Firmware Package Build] カラムに LSI ファームウェアの情報が表示されます。

手順の詳細

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Server] タブをクリックします。

ステップ 2 [Server] タブの [RAID] をクリックします。[Storage Cards] ページが表示されます。

ステップ 3 [StorageAdapters] 領域の、[Firmware Package Build] カラムに LSI ファームウェアの情報が表示されます。

Cisco IOS と CIMC CLI 設定のトラブルシューティング

Cisco IOS の設定が CIMC に適用されない

この問題は、CIMC で **[Lock IOS Configuration Changes]** がイネーブルになっている場合に発生します。この問題を解決するには、CIMC GUI または CIMC CLI を使用します。

GUI を使用して Cisco IOS 設定への変更を CIMC に適用する

Cisco IOS 設定への変更を CIMC に適用するには、CIMC GUI から次の手順を実行します。

手順

手順の概要

1. [Navigation] ペインの [Server] タブをクリックします。
2. [Server] タブの [Summary] をクリックします。[Server Summary] ページが表示されます。
3. [Server Summary] ページから、[LockIOS Configuration Changes] ボタンをクリックしてロックを解除します。

手順の詳細

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Server] タブをクリックします。

ステップ 2 [Server] タブの [Summary] をクリックします。[Server Summary] ページが表示されます。

ステップ 3 [Server Summary] ページから、[LockIOS Configuration Changes] ボタンをクリックしてロックを解除します。

CLIを使用してCisco IOS設定をCIMCに適用する

Cisco IOS設定への変更をCIMCに適用するには、**set ios-lockout unlocked** コマンドを使用します。

```
Server /chassis # set ios-lockout unlocked
Server /chassis *# commit
Server /chassis # show detail
Chassis:
  Power: off
  Power Button: unlocked
  IOS Lockout: unlocked
  Serial Number: FOC16161F5E
  Product Name: E140D
  PID : UCS-E140D-M1/K9
  UUID: 1255F7F0-0F16-0000-E5A5-05EAA6AF20B5
  Description:
```

CIMCで最新の設定変更を表示できない

この問題を解決するには、設定を変更した後で、[Refresh]をクリックします。

CIMC CLI設定の変更をコミットできない

この問題は、次の条件下で発生します。

- CIMCに静的IPアドレスを割り当てているときに、[DHCP]の値を[Enabled]にし、[DNS-use-DHCP]の値を[Yes]にしている場合。この問題を解決するには、値を[No]に変更してから静的IPアドレスを割り当てます。

```
Server /cimc/network # set dns-use-dhcp no
Server /cimc/network *# set dhcp-enabled no
Server /cimc/network *# set v4-addr 192.168.100.78

Server /cimc/network *# commit
```

- 1つのスコープで設定を変更した後に、その変更内容を別のスコープからコミットしようとした場合。

同じスコープ内で行われた変更をコミットするために、commitコマンドを使用する必要があります。別のスコープで行った変更をcommitコマンドを使用して送信しようとする、エラーメッセージが表示されます。この問題を解決するには、同じスコープの中で変更をやり直して再コミットします。

LED、DIMM、ビデオポート、USBポート、CD/DVDのトラブルシューティング

LEDがオレンジ色に表示される（EシリーズサーバおよびSM EシリーズNCEに適用）

実行中またはサーバの起動時に、POST診断テストにより、CPU、DIMM、HDDが確認されます。何らかの障害が発生した場合は、システムイベントログ（SEL）に障害通知が送信されます。通知はSELまたは**show tech-support**コマンドの出力で確認できます。エラーが発生すると、障害の発生したコンポーネントの横にあるオレンジの診断LEDが点灯します。DIMMとHDDの問題を

解決するには、EシリーズサーバまたはSMEシリーズNCEの電源を切断し、DIMMとハードドライブが正しく取り付けられていることを確認します。

手順

手順の概要

1. EシリーズサーバまたはSMEシリーズNCEが3900シリーズルータに取り付けられている場合、**hw-module sm slotoir stop** コマンドを使用してサーバの電源をオフにするか、あるいはルータの電源を切断します。
2. サーバを取り外します。
3. 必要に応じてDIMMまたはハードドライブを再度取り付けます。
4. サーバをルータに再度取り付けます。
5. ルータの電源を切断していた場合は、投入します。

手順の詳細

-
- ステップ 1** EシリーズサーバまたはSMEシリーズNCEが3900シリーズルータに取り付けられている場合、**hw-module sm slotoir stop** コマンドを使用してサーバの電源をオフにするか、あるいはルータの電源を切断します。
- ステップ 2** サーバを取り外します。
- ステップ 3** 必要に応じてDIMMまたはハードドライブを再度取り付けます。
- ステップ 4** サーバをルータに再度取り付けます。
- ステップ 5** ルータの電源を切断していた場合は、投入します。
-

DIMMが機能しない

この問題を解決するには、次の手順を実行します。

- DIMMが取り付けられていることと、各DIMMが同じ容量であることを確認します。次の手順を実行します。
 - [Navigation]ペインの [Server] タブをクリックします。
 - [Server] タブの [Inventory] をクリックします。 [Inventory] ページが表示されます。
 - [Memory]タブをクリックします。 [Memory Details] 領域の [Capacity] カラムを使用すると、DIMMの容量と、DIMMが取り付けられているかどうかを確認することができます。

各DIMMの [Capacity] カラムの値が同じであることを確認します。

DIMMが取り付けられている場合は [Capacity] カラムに数値が表示されます。その他の場合は、 [NotInstalled] と表示されます。

- メモリ関連のシステムイベントログがあるかどうかを確認します。次の手順を実行します。
 - [Navigation]ペインの [Server] タブをクリックします。
 - [Server] タブの [System Event Log] をクリックします。[System Event Log] ページが表示されます。
 - [Description]カラムで、**FRU_RAM xxx** から始まるイベントを探します。
- そのサーバモデルで DIMM がサポートされているかどうかを確認します。
 - シングル幅 E シリーズ サーバ—DDR3 1333MHz VLP UDIMM 1.5 V、4 GB と 8 GB がサポートされます。
 - ダブル幅 E シリーズ サーバ—DDR3 1333 MHz RDIMM 1.35 V、4 GB、8 GB、16 GB がサポートされます。
 - ダブル幅 (PCIE 対応) —DDR3 1333 MHz RDIMM 1.35 V、4 GB、8 GB、16 GB がサポートされます。
 - EHWIC E シリーズ NCE—DDR3 1333 MHz SODIMM、4 GB、8 GB、16 GB がサポートされます。
- DIMM のサーバスロットへの取り付けが正しいかどうかを確認し、正しくない場合は DIMM を取り外して再度取り付けます。

前面パネル ビデオポートが機能しない (E シリーズ サーバおよび SM E シリーズ NCE に適用)

この問題は、[EnableLocal Server Video]チェックボックスがオフになっている場合に発生します。この問題を解決するには、CIMC GUI から次の手順を実行します。

手順

手順の概要

1. [Navigation] ペインの [Server] タブをクリックします。
2. [Server] タブの [RemotePresence] をクリックします。
3. [Remote Presence] ペインの [VirtualKVM] タブをクリックします。
4. [vKVMProperties] 領域で、[Enable Local Server Video] チェックボックスをオンにします。

手順の詳細

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Server] タブをクリックします。

ステップ 2 [Server] タブの [RemotePresence] をクリックします。

ステップ 3 [Remote Presence] ペインの [VirtualKVM] タブをクリックします。

ステップ 4 [vKVMProperties] 領域で、[Enable Local Server Video] チェックボックスをオンにします。

前面パネルのUSBポートが機能しない

前面パネルのUSBポートと接続しているデバイスのライトが点灯しません。この問題は、[USB BIOS Settings]でUSBポートがイネーブルになっていない場合に発生します。この問題を解決するには、CIMC GUIから次の手順を実行します。

手順

手順の概要

1. [Navigation] ペインの [Server] タブをクリックします。
2. [Server] タブの [BIOS] をクリックします。
3. [Actions] 領域で [Configure BIOS] をクリックします。[Configure BIOS Parameters] ダイアログボックスが表示されます。
4. [Configure BIOS Parameters] ダイアログボックスで、[Advanced] タブをクリックします。
5. [USB BIOS Settings] 領域が表示されるまで下方向にスクロールします。
6. [USB Port 0] と [USB Port 1] がイネーブルになっているかどうかを確認します。ポートがディセーブルになっている場合は、イネーブルにします。

手順の詳細

-
- ステップ 1** [Navigation] ペインの [Server] タブをクリックします。
- ステップ 2** [Server] タブの [BIOS] をクリックします。
- ステップ 3** [Actions] 領域で [Configure BIOS] をクリックします。[Configure BIOS Parameters] ダイアログボックスが表示されます。
- ステップ 4** [Configure BIOS Parameters] ダイアログボックスで、[Advanced] タブをクリックします。
- ステップ 5** [USB BIOS Settings] 領域が表示されるまで下方向にスクロールします。
- ステップ 6** [USB Port 0] と [USB Port 1] がイネーブルになっているかどうかを確認します。ポートがディセーブルになっている場合は、イネーブルにします。
-

外付けのCD/DVDデバイスからブートできない

この問題を解決するには、次の手順を実行します。

- CD/DVD デバイスの接続先のUSBポートがイネーブルになっているかどうかを確認します。[前面パネルのUSBポートが機能しない](#)、(17 ページ) を参照してください。
- CD/DVD デバイスが使用する電流が 700 mA を超えていないことを確認します。700 mA を超える場合は、CD/DVD デバイスの接続先 USB ポートが不安定になる場合があります。USB

ポートが機能しているかいないか、またはディセーブルになっている可能性があります。この問題を解決するには、外部から電源を供給されるUSBハブにデバイスを接続してみてください。

- [Boot Order] テーブルで、CD/DVD ROM デバイスが最初のブートデバイスとして設定されていることを確認します。この手順については、[BIOS セットアップ メニューを使用したブート順の設定](#)、(18 ページ) を参照してください。
- E シリーズ サーバをリブートしてください。

BIOS セットアップ メニューを使用したブート順の設定

サーバを外部ブート可能デバイス (E シリーズのサーバに直接接続された USB や外部 CD ROM ドライブなど) から起動する場合、この手順を使用します。CIMC GUI から次の手順を実行します。

手順

手順の概要

1. [Navigation] ペインの [Server] タブをクリックします。
2. [Server] タブの [Summary] をクリックします。
3. [Actions] 領域で、[LaunchKVM Console] をクリックします。[KVM Console] が別ウィンドウで開きます。
4. [Server Summary] ページで、[PowerCycle Server] をクリックしてサーバをリブートします。
5. プロンプトが表示されたら、ブートアップが完了する前に F2 を押して BIOS セットアップ メニューにアクセスします。[BIOS Setup] メニュー オプションを含む [Aptio Setup Utility] が表示されます。
6. キーボードの右または左矢印キーを使用して [Boot] タブを選択します。
7. [Boot Options Priority] 領域の下のページの下部まで下方向にスクロールします。次のブート オプション プライオリティが一覧表示されます。
8. キーボードの上または下矢印キーを使用して、該当するオプションを強調表示します。
9. Enter を押して、強調表示されているフィールドを選択します。
10. [Boot Option 1] に適切なデバイスを選択します。
11. F4 を押して変更を保存し、終了します。

手順の詳細

- ステップ 1** [Navigation] ペインの [Server] タブをクリックします。
- ステップ 2** [Server] タブの [Summary] をクリックします。
- ステップ 3** [Actions] 領域で、[LaunchKVM Console] をクリックします。[KVM Console] が別ウィンドウで開きます。
- ステップ 4** [Server Summary] ページで、[PowerCycle Server] をクリックしてサーバをリブートします。
- ステップ 5** プロンプトが表示されたら、ブートアップが完了する前に F2 を押して BIOS セットアップ メニューにアクセスします。[BIOS Setup] メニュー オプションを含む [Aptio Setup Utility] が表示されます。
- ステップ 6** キーボードの右または左矢印キーを使用して [Boot] タブを選択します。
- ステップ 7** [Boot Options Priority] 領域の下のページの下部まで下方向にスクロールします。次のブート オプション プライオリティが一覧表示されます。
- Floppy Drive BBS Priorities
 - Network Device BBS Priorities
 - Hard Drive BBS Priorities
 - CD/DVD ROM Drive BBS Priorities
- ステップ 8** キーボードの上または下矢印キーを使用して、該当するオプションを強調表示します。
- ステップ 9** Enter を押して、強調表示されているフィールドを選択します。
- ステップ 10** [Boot Option 1] に適切なデバイスを選択します。
- ステップ 11** F4 を押して変更を保存し、終了します。
[BIOS Setup] の [Main] タブに、[Boot Option 1] として設定したデバイスが表示されます。
-

KVM のトラブルシューティング

vMedia をマウントできない

この問題は、仮想メディアをイネーブルにしていない場合に発生することがあります。この問題を解決するには、CIMC GUI から次の手順を実行します。

手順

手順の概要

1. [Navigation] ペインの [Server] タブをクリックします。
2. [Server] タブの [Remote Presence] をクリックします。[Remote Presence] ページが表示されます。
3. [VirtualMedia] タブをクリックし、[Virtual Media Properties] 領域で、[Enabled] チェックボックスをオンにします。
4. これでも問題が解決しない場合、次の手順を実行します。

手順の詳細

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Server] タブをクリックします。

ステップ 2 [Server] タブの [Remote Presence] をクリックします。[Remote Presence] ページが表示されます。

ステップ 3 [VirtualMedia] タブをクリックし、[Virtual Media Properties] 領域で、[Enabled] チェックボックスをオンにします。

ステップ 4 これでも問題が解決しない場合、次の手順を実行します。

- a) [Enabled] チェックボックスをオフにしてから [Save Changes] をクリックします。
 - b) [Enabled] チェックボックスをオンにしてから [Save Changes] をクリックします。
-

vKVM を起動できない — エラー メッセージ：「Connection Failed」

プロキシを経由して vKVM を起動しようとする時、「Connection Failed」というエラーメッセージが表示されます。この問題を解決するには、プロキシをディセーブルにします。

KVM が起動しない場合がある

この問題を解決するには、次の手順を実行します。

手順の概要

1. ブラウザを再起動してから再度試してみてください。
2. インストールされている Java のバージョンが少なくとも 6.0 であることを確認します。
3. 問題が解決しない場合は、Java コントロールパネルから Java キャッシュをクリアします。

手順の詳細

ステップ 1 ブラウザを再起動してから再度試してみてください。

ステップ 2 インストールされている Java のバージョンが少なくとも 6.0 であることを確認します。

ステップ 3 問題が解決しない場合は、Java コントロールパネルから Java キャッシュをクリアします。

Broadcom FCOE の設定を起動できない

Ctrl+S キーを押しても Broadcom FCOE 設定が起動しない場合は、E シリーズ サーバをリブートしてから再度試してみてください。FCOE の設定についての詳細は、「[Broadcom NetXtreme II Network Adapter User Guide](#)」を参照してください。

ストレージのトラブルシューティング



(注) RAID 機能は E シリーズ サーバおよび SM E シリーズ NCE に適用できます。RAID 機能は EHWIC E シリーズ NCE には適用されません。

エラーメッセージ：「LSI OpROM: Battery Status: Not Present」

このメッセージは無視してください。

ストレージ イベント ログの表示



(注) この手順は、E シリーズ サーバおよび SM E シリーズ NCE に適用されます。この手順で、EHWIC E シリーズ NCE には適用されません。

ストレージ イベント ログを表示するには、CIMC GUI から次の手順を実行します。

手順の概要

1. [Navigation] ペインの [Admin] タブをクリックします。
2. [Admin] タブの [CIMC Log] をクリックします。[CIMC Log] ページが表示されます。
3. [Source] カラムで、**BMC:storage** で始まるログを探します。

手順の詳細

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Admin] タブをクリックします。

ステップ 2 [Admin] タブの [CIMC Log] をクリックします。[CIMC Log] ページが表示されます。

ステップ 3 [Source] カラムで、**BMC:storage** で始まるログを探します。

現在のブートドライブの確認 (CIMC リリース 1.x の場合)



(注) この手順は、E シリーズ サーバおよび SM E シリーズ NCE に適用されます。この手順で、EHWIC E シリーズ NCE には適用されません。

どのドライブがブート可能かを確認するには、CIMC GUI から次の手順を実行します。

手順の概要

1. [Navigation] ペインの [Server] タブをクリックします。
2. [Server] タブの [Inventory] をクリックします。[Inventory] ページが表示されます。
3. [Storage] タブをクリックします。
4. [ControllerInfo] タブをクリックします。
5. [Settings] 領域の [Current Boot Drive] フィールドに現在のブートドライブの情報が表示されます。

手順の詳細

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Server] タブをクリックします。

ステップ 2 [Server] タブの [Inventory] をクリックします。[Inventory] ページが表示されます。

ステップ 3 [Storage] タブをクリックします。

ステップ 4 [ControllerInfo] タブをクリックします。

ステップ 5 [Settings] 領域の [Current Boot Drive] フィールドに現在のブートドライブの情報が表示されます。

現在のブートドライブの確認 (CIMC リリース 2.x の場合)



(注) この手順は、E シリーズ サーバおよび SM E シリーズ NCE に適用されます。この手順で、EHWIC E シリーズ NCE には適用されません。

どのドライブがブート可能かを確認するには、CIMC GUI から次の手順を実行します。

手順の概要

1. [Navigation] ペインの [Server] タブをクリックします。
2. [Server] タブの [RAID] をクリックします。[Storage Card] ページが表示されます。
3. [ControllerInfo] タブをクリックします。
4. [Settings] 領域の [Current Boot Drive] フィールドに現在のブートドライブの情報が表示されます。

手順の詳細

- ステップ 1 [Navigation] ペインの [Server] タブをクリックします。
- ステップ 2 [Server] タブの [RAID] をクリックします。[Storage Card] ページが表示されます。
- ステップ 3 [ControllerInfo] タブをクリックします。
- ステップ 4 [Settings] 領域の [Current Boot Drive] フィールドに現在のブート ドライブの情報が表示されます。

LSI WebBIOS Flaky でのマウスとキーボードの使用

これは既知の問題です。この問題に対処するには、物理的なマウスとキーボードを接続します。

LSI WebBIOS を使用する状況



- (注) この項は、E シリーズ サーバおよび SM E シリーズ NCE に適用されます。この項は、EHWIC E シリーズ NCE には当てはまりません。

次の条件では LSI WebBIOS を使用します。

- OPROM で LSI 警告メッセージが表示され、ドライブの設定が必要な場合。
- SED ドライブで RAID アレイを設定する場合。
- SED のセキュア キーとパス フレーズを変更または削除する場合。
- 外部 SED ドライブを設定する場合。
- 新しいオペレーティング システムをインストールする前に RAID 設定をクリアする場合。

show inventory コマンドの出力で、不明な xxx エラー メッセージが表示される



- (注) このエラー メッセージは、E シリーズ サーバおよび SM E シリーズ NCE に適用されます。このエラー メッセージは、EHWIC E シリーズ NCE には当てはまりません。

症状：**showinventory** コマンドを入力すると、サーバが認識されずに次のエラー メッセージが表示されます。

```
Router> show inventory
NAME: "Unknown on Slot 4", DESCR: "Unknown"
PID: UCS-E140D-M1/K9 , VID: V00 , SN: FOC16161F5E
```

この問題は、サポートされていないバージョンの Cisco IOS ソフトウェアがインストールされている場合に発生します。E シリーズ サーバでサポートされている Cisco IOS ソフトウェアのバージョンは、15.2(4)M 以降です。詳細については、使用している CIMC のバージョンに応じたスタート

アップガイドの項「Verifying the Router, E-Series Server, and Cisco IOS Software Version Compatibility」を参照してください。スタートアップガイドは以下の場所から入手できます：<http://www.cisco.com/c/en/us/support/servers-unified-computing/ucs-e-series-servers/products-installation-guides-list.html>

RAID の動作が止まっている



(注) この項は、E シリーズ サーバおよび SM E シリーズ NCE に適用されます。この項は、EHWIC E シリーズ NCE には当てはまりません。

症状：再ビルド、再構築、整合性チェックがトリガーされた後で、RAID の動作が続行されずに 0% のままとなり、経過時間が 0 秒と表示されます。

この問題が発生するのは、RAID が適切に機能するためにホスト オペレーティング システムのメモリに依存しているためです。この問題を解決するには、オペレーティング システムがブートしていることを確認します。ブートしていない場合は、オペレーティング システムをブートします。

RAID を設定するために使用できるドライブがない



(注) この項は、E シリーズ サーバおよび SM E シリーズ NCE に適用されます。この項は、EHWIC E シリーズ NCE には当てはまりません。

症状：[Createto configure RAID] をクリックしたときに、[Select Drives] 領域に使用可能なドライブがありません。

この問題を解決するには、ドライブの状態が [Unconfigured Good] であることを確認します。使用している CIMC のバージョンに応じた構成ガイドの項「Changing the Physical Drive State」を参照してください。

構成ガイドは以下の場所から入手できます：<http://www.cisco.com/c/en/us/support/servers-unified-computing/ucs-e-series-servers/products-installation-and-configuration-guides-list.html>

RAID アレイが CIMC GUI から消える



(注) この項は、E シリーズ サーバおよび SM E シリーズ NCE に適用されます。この項は、EHWIC E シリーズ NCE には当てはまりません。

症状：当初はシステム内に存在していた RAID アレイが CIMC GUI に表示されません。

この問題は、ブートアップ時に 3 回同時に不正または空のパス フレーズを入力した場合に、LSI OpROM で発生する場合があります。「エラー発生時に BIOS を続行」機能のため、ブートプロセスは続行されますが、ドライブにアクセスできません。

この問題を解決するには、次の手順を実行します。

- 1 システムをリブートしてから、正しいパス フレーズを入力します。
- 2 LSI WebBIOS から、新しいパス フレーズを設定するか、セキュリティを削除します。

物理ドライブの状態が [Unconfigured Good] に変化する



(注) この項は、E シリーズ サーバおよび SM E シリーズ NCE に適用されます。この項は、EHWIC E シリーズ NCE には当てはまりません。

この問題は、ブートアップ時に 3 回同時に不正または空のパス フレーズを入力した場合に、LSI OpROM で発生する場合があります。「エラー発生時に BIOS を続行」機能のため、ブート プロセスは続行されますが、ドライブにアクセスできません。

この問題を解決するには、次の手順を実行します。

- 1 システムをリブートしてから、正しいパス フレーズを入力します。
- 2 LSI WebBIOS から、新しいパス フレーズを設定するか、セキュリティを削除します。

セキュア ドライブにアクセスできない



(注) この項は、E シリーズ サーバおよび SM E シリーズ NCE に適用されます。この項は、EHWIC E シリーズ NCE には当てはまりません。

この問題は、ブートアップ時に 3 回同時に不正または空のパス フレーズを入力した場合に、LSI OpROM で発生する場合があります。「エラー発生時に BIOS を続行」機能のため、ブート プロセスは続行されますが、ドライブにアクセスできません。

この問題を解決するには、次の手順を実行します。

- 1 システムをリブートしてから、正しいパス フレーズを入力します。
- 2 LSI WebBIOS から、新しいパス フレーズを設定するか、セキュリティを削除します。

ドライブを再設定できない



(注) この項は、E シリーズ サーバおよび SM E シリーズ NCE に適用されます。この項は、EHWIC E シリーズ NCE には当てはまりません。

この問題は、ブートアップ時に 3 回同時に不正または空のパス フレーズを入力した場合に、LSI OpROM で発生する場合があります。「エラー発生時に BIOS を続行」機能のため、ブート プロセスは続行されますが、ドライブにアクセスできません。

この問題を解決するには、次の手順を実行します。

- 1 システムをリブートしてから、正しいパス フレーズを入力します。
- 2 LSI WebBIOS から、新しいパス フレーズを設定するか、セキュリティを削除します。

SNMP のトラブルシューティング

SNMP が応答しない

この問題を解決するには、CIMC GUI から次の手順を実行します。

手順

手順の概要

1. [Navigation] ペインの [Admin] タブをクリックします。
2. [Admin] タブの [Communication Services] をクリックします。[Communication Services] ページが表示されます。
3. [SNMP] タブをクリックします。
4. [SNMP Properties] 領域で、[SNMPEnabled] チェックボックスがオンになっていることを確認します。

手順の詳細

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Admin] タブをクリックします。

ステップ 2 [Admin] タブの [Communication Services] をクリックします。[Communication Services] ページが表示されます。

ステップ 3 [SNMP] タブをクリックします。

ステップ 4 [SNMP Properties] 領域で、[SNMPEnabled] チェックボックスがオンになっていることを確認します。

SNMP からトラップが送信されない

この問題を解決するには、次の手順を実行します。

手順の概要

1. SNMP がイネーブルになっていることを確認します。参照先 [SNMP が応答しない](#)、(26 ページ)
2. SNMP トラップ設定の実行使用している CIMC のバージョンに応じた構成ガイドの項「Configuring SNMP Trap Settings」を参照してください。構成ガイドは以下の場所から入手できます：<http://www.cisco.com/c/en/us/support/servers-unified-computing/ucs-e-series-servers/products-installation-and-configuration-guides-list.html>

手順の詳細

- ステップ 1** SNMP がイネーブルになっていることを確認します。参照先 [SNMP が応答しない](#), (26 ページ)
- ステップ 2** SNMP トラップ設定の実行使用している CIMC のバージョンに応じた構成ガイドの項「Configuring SNMP Trap Settings」を参照してください。構成ガイドは以下の場所から入手できます：<http://www.cisco.com/c/en/us/support/servers-unified-computing/ucs-e-series-servers/products-installation-and-configuration-guides-list.html>

診断のトラブルシューティング

診断テストの実行

使用している CIMC のバージョンに応じた構成ガイドの項「Diagnostic Tests」を参照してください。構成ガイドは以下の場所から入手できます：<http://www.cisco.com/c/en/us/support/servers-unified-computing/ucs-e-series-servers/products-installation-and-configuration-guides-list.html>

show diag コマンドを実行すると、不明なポートアダプタエラーメッセージが表示される

症状：**showdiag** コマンドを入力すると、サーバが認識されずに次のエラーメッセージが表示されます。

```
Router> show diag
Unknown (type 1889) Port adapter
Port adapter is disabled
Product (FRU) Number      : UCS-E140D-M1/K9
```

この問題は、サポートされていないバージョンの Cisco IOS ソフトウェアがインストールされている場合に発生します。E シリーズサーバでサポートされている Cisco IOS ソフトウェアのバージョンは、15.2(4)M 以降です。詳細については、使用している CIMC のバージョンに応じたスタートアップガイドの項「Verifying the Router, E-Series Server, and Cisco IOS Software Version Compatibility」を参照してください。スタートアップガイドは以下の場所から入手できます：<http://www.cisco.com/c/en/us/support/servers-unified-computing/ucs-e-series-servers/products-installation-guides-list.html>

テクニカル サポート データの収集

CIMC GUI または CIMC CLI を使用すると、テクニカル サポート データを収集できます。このタスクは、Cisco Technical Assistance Center (TAC) から要求された場合に実行します。このユーティリティは、TAC が技術上の問題をトラブルシューティングおよび解決する際に役立つ設定情報、ログ、および診断データが含まれる要約レポートを作成します。

CIMC GUI を使用したテクニカル サポート データの収集

テクニカル サポート データを収集するには、CIMC GUI から次の手順を実行します。

手順

手順の概要

1. [Navigation] ペインの [Admin] タブをクリックします。
2. [Admin] タブの [Utilities] をクリックします。
3. [Utilitie] ペインの [Actions] エリアで [Export Technical Support Data] をクリックします。
4. [ExportTechnical Support Data] ダイアログボックスで、必要に応じて [Export to a local file] または [Export to TFTP server] オプション ボタンをクリックします。
5. [Export] をクリックします。
6. 生成されたレポート ファイルを Cisco TAC に提供します。

手順の詳細

-
- ステップ 1 [Navigation] ペインの [Admin] タブをクリックします。
- ステップ 2 [Admin] タブの [Utilities] をクリックします。
- ステップ 3 [Utilitie] ペインの [Actions] エリアで [Export Technical Support Data] をクリックします。
- ステップ 4 [ExportTechnical Support Data] ダイアログボックスで、必要に応じて [Export to a local file] または [Export to TFTP server] オプション ボタンをクリックします。
- ステップ 5 [Export] をクリックします。
 (注) テクニカルサポートデータの収集には最低 3 分間かかります。
- ステップ 6 生成されたレポート ファイルを Cisco TAC に提供します。
-

CIMC CLI を使用したテクニカルサポートデータの収集

CIMC CLI から、次のコマンドを入力します。

```
Server# scope cimc
Server /cimc
# scope tech-support
t
Server /cimc/tech-support #
set tftp-ip tftp_server_ip_addressServer /cimc/tech-support *# set path /user/user1/supportfile
Server /cimc/tech-support *#
commit
S
erver /cimc/tech-support #
start
Server /cimc/tech-support #
show detail
```

